

令和8年度

「運営に関する計画」



大阪市立井高野小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、過去の困難な状況を踏まえ、授業の確立と規範意識の向上に努めてきた結果、現在ではどの学級の児童もおおむね落ち着いて学習に取り組んだり、学校生活を過ごしたりすることができている。

しかし、一方では、基本的な生活習慣の確立が難しい児童や、自分の感情をうまくコントロールできないため集団の中で落ち着かなかつたり、周囲と良好な関係を築きにくかつたりする児童など、個別に配慮を要する児童も少なくない。また、基礎的な学力の定着に課題を有する傾向にある。そういった現状の中で、自分に自信が持てず、自己肯定感が全体的に低い傾向にある。

学校での豊かなかかわりの中で、社会性や自尊感情を育み、学習や運動への意欲をいっそう高めることを通して、自己肯定感の向上、学力・体力の向上を目指す必要がある。また、子どもたちが主体的・協働的に学びや活動を進めていくような手立てのさらなる工夫も図りたい。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

○令和11年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。(R7 79.5%)

○毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を、毎年、増加させる。(R7 0%)

○令和11年度の小学校学力経年調査・校内調査の「自分には、良いところがあると思いますか。」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。

(R7 経年 73.7%、校内ア 82.7%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和11年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。

○令和11年度の小学校学力経年調査・校内調査の「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

○令和11年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、90%以上にする。(R7 男子 100%、女子 82.8%)

【学びを支える教育環境の充実】

○令和11年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。(R7 76.2%)

- 令和 11 年度の教員 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を、令和 7 年度より 3 時間削減する。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか。」の項目に肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。(R7 経年 75.0%、校内ア 76.4%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。(R7 86.1%)
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。(R7 73.2%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 78%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。(R7 88.4%)

【学びを支える教育環境の充実】

- ・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現をする取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 78%以上にする。(R7 76.2%)
- ・教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を、いずれの月も前年度を下回るようにする。
- ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 77%以上にする。(R7 75.0%)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立井高野小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。(R7 86.1%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(R7 73.2%)</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童がSOSを発信しやすい環境と、教職員が児童の状況を多面的に把握し、一人一人に寄り添った支援を行える環境の実現を目指す。</p>	
<p>指標 学校アンケートで「学校に行くのは楽しい」と答える児童の割合を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童一人一人に寄り添った不登校要因への対応を行い、不登校児童の学習機会の確保に向けた取り組みを行う。</p>	
<p>指標 不登校児童、あるいは不登校気味な児童に対し、保護者や本人との電話やGoogle Classroomでのやりとり、家庭学習の課題のチェックなどを週1回以上行う。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>「井高野のいいね」を活用し、望ましい行動についての理解深め、行動できたことをほめるようにする。</p>	
<p>指標 学校アンケートで「自分にはよいところがあると思う」と答える児童の割合を昨年度(82%)より向上させる。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立井高野小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。</p> <p>(R7 88.4%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>主体的・対話的な学びを推進し、個別最適な支援や協働的な学びの充実をめざして、基礎的基本的な学力の着実な定着を図る。</p> <p>指標</p> <p>校内アンケートの「学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたり、深めたりすることができていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。(R7 80.2%)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>校舎建設に伴い運動場の使用制限があるため、講堂での体育の時間のほか、講堂開放の時間を設けたり運動週間を設定したりして運動量を確保する。</p> <p>指標</p> <p>校内アンケートの「体育や休み時間などで、すすんで体を動かしていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。(R7 83.1%)</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>手を清潔に保つことの大切さを理解し、健康的な生活習慣の定着を図る。</p> <p>指標</p> <p>校内アンケートの「丁寧な手洗いをしていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。(R7 86.5%)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立井高野小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現をする取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。(R7 76.2%)</p> <p>○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を、いずれの月も前年度を下回るようにする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。(R7 75.0%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</p> <p>端末を活用した情報の収集・整理や、まとめ・表現の方法に関する研修を実施し、児童が主体的に端末を活用できる力の育成を図る。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <p>学校アンケートにおける「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現をする取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>毎月の時間外勤務時間の状況を全体で共有し、時間外勤務に対する意識を高め、長時間勤務の解消を図る。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <p>教職員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を、6か月以上、前年度を下回るようにする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>図書館開放を毎日1回以上実施し、本を借りる機会を確保するとともに、読書タイム等を通して読書の機会を保障し、児童が本に親しむことができるようにする。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <p>学校アンケートにおける「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を昨年度 (%) より向上させる。(R7 76.4%)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	